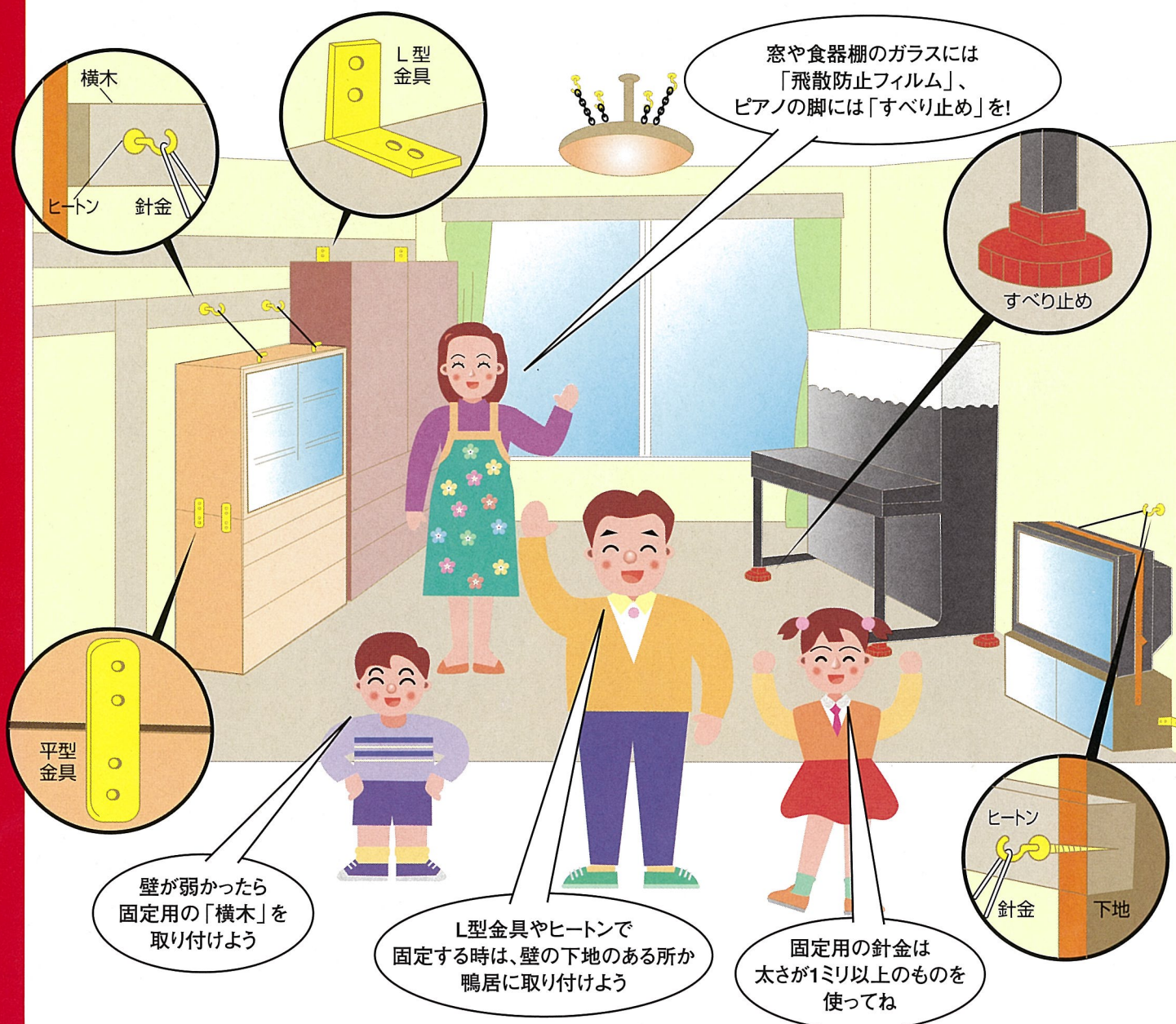


まずはここからはじめよう 家の中の地震対策

阪神・淡路大震災では、家具類の転倒による死傷のほか、家具類の下敷きになり、屋外に避難できずに延焼火災の犠牲になったケースもありました。家の中の地震対策も万全を心がけましょう。

■家具の転倒防止

阪神淡路大震災では、直下型の強い地震のためタンス等の家具の転倒により多くの負傷者や死者が出ました。工務店に依頼するか、ホームセンターから転倒防止用の金物等を購入し取り付けることが大切です。また、寝室では、家具が転倒する範囲にベッドや布団を置かない工夫も必要です。



※出口の確保も忘れずに!!

玄関に固定していない棚があったり、水槽や花瓶を置いたりしてませんか?

地震の際、それらが転倒・散乱すると外に逃げられない、靴も履けない、という状態になってしまいます。出口の確保にも十分に注意しましょう。